

上信越高原国立公園
(谷川地域)

公園区域及び公園計画変更書

[再検討]

平成27年3月27日
環境省

目 次

第1	公園区域の変更	1
1	変更理由	1
2	指定理由の変更内容	2
3	地域概要変更内容	4
4	変更する公園区域	16
第2	公園計画の変更	21
1	変更理由	21
2	基本方針の変更内容	22
3	規制計画の変更内容	26
	(1) 保護規制計画及び関連事項	26
	ア 特別地域	26
	(ア) 第1種特別地域	28
	(イ) 第2種特別地域	30
	(ウ) 第3種特別地域	34
	イ 関連事項	36
	(ア) 普通地域	36
	ウ 面積内訳	49
4	事業計画の変更内容	51
	(1) 施設計画	51
	ア 利用施設計画	51
	(ア) 集団施設地区	51
	(イ) 単独施設	55
	(ウ) 道路	59
	a 車道	59
	b 歩道	61
	(エ) 運輸施設	65

第1 公園区域の変更

1 変更理由

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県及び新潟県の三県の県境にそびえる 2,000m級の山々を中心とした公園である。昭和 24 年 9 月 7 日に、志賀高原地域、谷川・苗場地域、草津・万座・浅間地域（東部地域）が国立公園に指定され、その後、昭和 31 年 7 月 10 日に妙高・戸隠地域（西部地域）が追加指定され、現在に至っている。

谷川地域は、昭和 24 年の国立公園指定以来、公園区域の全般的な見直し（再検討）が行われていない。

このため、自然的及び社会的状況の変化を踏まえ、本地域の公園区域の再検討を行い、風致景観の保全と適正な利用を図るものである。

2 指定理由の変更内容

指定理由を次のとおり変更する。

(表 1：指定理由変更表)

変更後	変更前
<p>上信越高原国立公園は、^{あさまやま}浅間山、^{あずまやさん}四阿山、^{しらねさん}白根山、^{いわすげやま}岩菅山等の火山群やそれらの山麓の火山性高原、谷川連峰等の構造山地に、巨大な溶岩台地である^{なえぼさん}苗場山の地域等を合わせ、我が国を代表する山岳及び高原景観地として、昭和 24 年 9 月 7 日に国立公園に指定された。その後、昭和 27 年 10 月 9 日に利用計画の決定、昭和 27 年 10 月 28 日の特別地域の指定、昭和 44 年 1 月 10 日に特別保護地区の指定が行われている。</p> <p>本公園は「山と高原が彩るレクリエーションワールド」をテーマとして、成層火山やカルデラ、火山性高原等の火山活動による様々な地形と氷食による断崖・岩壁や^{じゃもんがん}蛇紋岩植生が見られる非火山性構造山地等の景観要素からなる風致景観を保全し、これらの風致景観を活かした多種多様な利用を適切に推進するものである。</p> <p>本公園谷川地域については、昭和 24 年 9 月 7 日の指定後、区域及び公園計画にかかる全面的な見直しが行われず、現在に至っている。本地域は、非火山性の構造山地として群馬県と新潟県の県境に谷川連峰がそびえ、標高は 2,000m に届かない程度であるが、ヨーロッパのアルプス山脈を彷彿とさせる非対称山体の美しい山岳景観を呈し、多くの観光客や登山者に親しまれている。本</p>	<p>(※指定当初の公園計画書が現存しないため、以下の各項目は無し。指定は、昭和 24 年 9 月 7 日厚生省告示第 183 号)</p>

変更後	変更前
<p>地域は、地形的要因や利用導線等から大きく谷川エリアと赤谷エリアの2地域に分けることができる。</p> <p>谷川エリアは湯桧曾川の流域に位置し、谷川岳をはじめとして一ノ倉岳、茂倉岳、武能岳、朝日岳、白毛門で形成される馬蹄形の盆地を有し、一ノ倉沢、マチガ沢、幽ノ沢等の氷河地形が見られるエリアである。高山帯から山地帯に位置するため、高山低木群落からブナ-ミズナラ群落まで多様な植生分布が見られ、雪田草原や風衝草原等には高山植物群落が見られる。山麓には湯桧曾温泉や谷川温泉があり、登山基地となっている。当該エリアは、平成24年6月に全国3番目、国立公園内では第1号のエコツアーリズム推進法に基づく全体構想認定地域で、地元団体によって自然環境の保護と適正利用の推進が行われている。国道291号線のマイカー規制もその一環であり、利用シーズンには車両の乗り入れが禁止されるなどの対応が取られている。</p> <p>赤谷エリアは赤谷川とムタコ沢の流域に位置し、万太郎山、仙ノ倉山、平標山、三国山の谷川連峰と稲包山、赤沢山、吾妻耶山に囲まれたエリアで、旧新治村の地域である。高山帯から山地帯に位置し、高山低木群落からブナ-ミズナラ群落まで多様な植生分布が見られ、雪田草原や風衝草原には高山植物群落が見られる。山麓には川古、法師温泉等古くからの温泉地がある。当該エリアは、平成16年から三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)が進められている地域で、土地所有者である国や自然保護団体、地域団体によって生物多様性に配慮した森林管</p>	

変更後	変更前
<p>理が行われている。</p> <p>以上より、非火山性連峰を風景形式とし、それと一体的な非対象山体の美しい山岳景観を有する本区域を、我が国を代表する傑出した景観を有する地域として国立公園に指定するものである。</p>	

3 地域の概要の変更内容

地域の概要を次のとおり変更する。

(表2：地域概要変更表)

変更後	変更前
<p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>谷川連峰は、2,000m に足りない中級山岳であるが、山容はまさしく高山的で、アルプス的な景観を呈している。これは、この地域が残雪に富み、各地に高山草原が発達していることなどに起因して</p>	<p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>(※項目無し)</p>

